



住まいるニュース

2018
1
vol.86

今月の特集 ■ 安心・安全でスマートに!

子育て世帯の 家づくり

■ 家づくりは安心・安全から、
毎日の心身の負担を軽減しよう

大きなライフイベントのひとつである子どもの出産や入学。生活環境もガラリと変わり、これを機に家を建てようという方もいらっしゃるのでは。一方では、共働き世帯で仕事に時間を取られてしまう、毎日の家事の負担が大きく子どもに十分に目が届かない、という声も聞かえてきそうです。忙しい家庭環境で理想の子育てを実現するために、家づくりにできることを考えてみましょう。まず大前提は安心・安全であること。階段やバルコニーの手すりは見た目だけで選ばず、子供がすり抜けたりしないよう配慮しましょう。浴室の浴槽、キッチンの刃物や調理家電まわりも代表的なチェックポイント。家電のコンセントは子どもの手の届かない高さに設け、必要に応じて安全柵やチャイルドロックを用いるほか、調理器具は十分な収納の確保と片づけの習慣も忘れずに。家庭内事故を未然に防ぐことはもちろん、慌てて注意するような場面が減れば、親子とも無用なストレスが少なくて済みます。

■ わずかな時間も親子の時間に、
生活習慣が身につく家を

子どもが小学校に入学したら、家族のコミュニケーションの確保も大切。毎日の貴重な時間を共有したいなら、書斎

の代わりに共用のファミリーカウンターを設けてみてはどうでしょう。勉強や読書、家での仕事や帳面つけなどを同じ机で行えば会話も弾み、互いに黙々と集中してもよし。大人の気配があるだけでお子さんの安心感も高まるもの。キッチンがアイランド型にすれば、食事の支度中も親子の時間に活用しやすくなります。

整理整頓や身支度など、子どもの生活習慣を養うのも家の役割のひとつ。個室は広すぎず、子どもの把握できる範囲内が片づけを身につけやすいと。玄関付近には十分な収納スペースと洗面台を設ければ、外出時の支度も手早くできて汚れも屋内に持ち込まず、うがい・手洗いの習慣づけにも役立ちます。

子どもが生まれた! 小学校に入った!
住宅購入のきっかけにも多い子育てですが、
現代の家庭は忙しいのが悩み。
家族みんなが安全に楽しく暮らすには、
どんなポイントがあるのでしょうか。

■ 子どもが大きくなるまで安心、
成長を見守る「FPの家」

動線は行き止まりのない回遊型にすると子どもにも開放感が生まれ、同時に家事の時短にもつながります。子ども部屋をつくるならリビングを経由させたり家族の気配が伝わる工夫が欲しいものですが、成長に応じて上手に距離感を計りたいところ。「FPの家」は長持ちする優れた住宅性能を持ち合わせ、間取りを変更しても家全体が変わらぬ暖かさを保ち続けるから、いつでも安心して子育てに取り組むことができます。

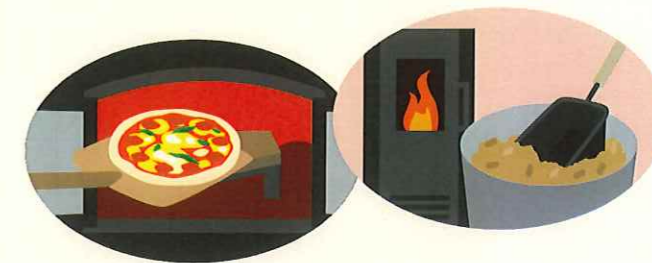
子どもは大人の真似をして育つもの。一緒に時間を大切にしながら、住まいは生活の手本を見せる場所でありたいものです。



住まいの知恵袋

薪ストーブ・ペレットストーブ

せつかくの家づくりの機会、薪ストーブのあるリビングに憧れる方もいらっしゃるのでは。遠赤外線の輻射熱で冬も部屋が乾燥することなく暖まることや、ピザや煮炊きなどの料理にも役立つこと、自然の炎が小窓から揺らめく姿も魅力のひとつです。一方、ススが溜まるため煙突掃除が必要となること、暖まるまで時間がかかることや、薪の保管場所と継続的な調達手



段の確保、薪を買うと割高になってしまうことも留意が必要。イメージだけでなく家族のライフスタイルを考慮して十分話し合うことが大切です。

ペレットとは木くずなどを圧縮した比較的扱いやすい燃料。薪ストーブのハードルが高いなら、比較検討してみるのも良いでしょう。



できた! / カンタン DIY

照明器具

新しい家のダイニングは素敵なデザインのペンダントライトをつけたい、しかし値段を見てびっくり...というのも良くあること。予算が厳しいなら、いっそDIYで作ってみては。

まずは風船を適当な大きさに膨らませて上下に電球を出し入れするサイズの円を描き、その円にかからないように麻ひもを巻いていきます。隙間が目立たなくなったら水に溶いた接着剤を麻ひも

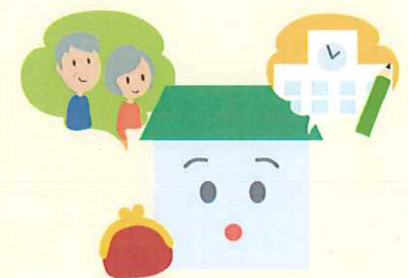
に塗り込み、乾いたら風船を取り除いてできあがり。ただし安全のため電球はLEDを使用し、素材と接しないよう十分な大きさを確保しておきましょう。麻ひもの代わりに、風船に紙を貼る方法も素敵に仕上がります。半透明の素材で光が拡散し、柔らかい雰囲気になりますよ。



おカネの 豆知識

リースバック

老後資金や学費の調達などを目的に、自宅を売却後リースで住み続けられる制度。引越し不要で転校や生活圏が変わる心配がなく、将来的に買い戻せることなどがメリットです。リバースモーゲージと異なり、資金使途が自由なもの特徴。ただし、リースの家賃が売却額より割高となる点に注意が必要です。



暮らしの 1 POINT

厄払い



数え歳で男性25歳、女性19歳から始まる厄年は心穏やかに過ごしたいもの。厄払いは年始から節分までが一般的で、前厄・後厄も行うのがベストです。多くは普段着でも構いませんが、服装や初穂料は申込時に問合せを。厄は「役」にも通じる人生の節目ですから、堂々と臨むのも大切な心構えのひとつです。



教えて! Dr. 住まいる

節約! 加湿のアイデア



肌荒れや風邪予防にも欠かせない冬の乾燥対策。大きなシーツやタオルを干したり、入浴後に浴室の蒸気を部屋に流しておけば加湿器のコスト節約に役立ちます。コーヒーの好きなご家庭なら、フィルターを折って水を入れたカップに差せばミニ加湿器のできあがり。デスクワークの手元にもおすすめですよ。